

# 取り組んでいます

市では、成長著しい東アジア経済圏の活力を取り込むため、平成25年度より海外販路開拓支援事業を実施しています。平成27年度には次の3事業に取り組み、桐生市の魅力を海外に発信しました。

今後台湾をはじめ、東アジア経済圏の市場開拓を通じた産業振興を目指します。

問い合わせは、産業政策課産業政策係（☎内線582）へ。



結束する  
各都市の代表

## 「台湾雲林県諸都市との友好連携に関する覚書」締結



国立虎尾科技大学でスピーチする桐生市長

桐生市は、昨年10月、雲林県諸都市との間で、双方地域の発展を目指すための友好連携に関する覚書を締結しました。雲林県は、繊維産業や農業を基幹産業としていて、歴史的建造物が数多く存在するなど、桐生市との共通点が多い地域です。

また、市長は同日、群馬大学と協定を結ぶ国立虎尾科技大学で開催された雲林広域圏の経済発展を図るための会議に出席しました。この会議で市長は台湾との連携方針などについてスピーチを行いました。

これらは、これまで構築してきた雲林県政府との友好関係から発展したもので、今後、この覚書などを基に産業経済分野を中心に友好連携を推進します。

### <調印概要>

調印日＝平成27年10月22日（木）

調印場所＝雲林県政府庁舎（雲林県斗六市）

参加都市＝桐生市、雲林県、斗六市、古坑郷、麥寮郷、北港鎮、虎尾鎮（下の図表のとおり）

### 「台湾雲林県諸都市との友好連携に関する覚書」に参加した台湾の諸都市の概要



| 参加都市 | 概要  |
|------|---|
| 雲林県  | 台湾中部に位置し、県政府所在地は斗六市で、基幹産業は繊維産業及び農業<br>人口約70万人、面積約1,290 k㎡ |
| 斗六市  | 雲林県政府所在地<br>人口約10万人、面積約93 k㎡                              |
| 古坑郷  | 人口約3万人、面積約166 k㎡  |
| 麥寮郷  | 人口約4万人、面積約80 k㎡   |
| 北港鎮  | 人口約4万人、面積約41 k㎡   |
| 虎尾鎮  | 群馬大学協定校の国立虎尾科技大学が所在<br>人口約7万人、面積約68 k㎡                    |

# 海外販路開拓支援事業に

## 「台北テキスタイルフェア (TITAS)」<sup>ティタス</sup> 出展

台湾で開催される唯一の繊維関連国際見本市「台北テキスタイルフェア (TITAS)」に桐生市ブースを設置し、市内企業とともに出展しました。

今回で2度目の出展となり、桐生市が日本有数の繊維産業集積地であることも徐々に認知され、出展企業の技術・製品は、前回は上回る多数のバイヤー（仕入れ人）の関心を集めました。

群馬県上海事務所職員の支援を受けながら、各社とも熱心な商談を行うなど、織都桐生を大いにPRしてきました。

### <開催概要>

期間＝平成27年10月19日(月)～21日(水)

場所＝台北世界貿易中心南港展覽館 (台北市)

総来場者＝34,000人 (前回32,000人)

市ブース来場者＝1,411人 (前回1,155人)

出展企業＝4社、製品のみ出品6社

商談件数＝50件 (商談成立2件、試作依頼12件、その他36件)



来場者を集める桐生市ブース

## 「JETROキャラバン事業」<sup>ジェットロ</sup> 参加



バイヤーに実演説明を行う参加企業



群馬県上海事務所協力のもと、現地政府機関へ製品及び技術をアピール

独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) が主催する日用品・生活雑貨を対象とした海外商談会に桐生市ブースを設け、市内企業とともに参加しました。

国内における事前活動では、本事業の実効性を高めるため、在日大使館や政府関係機関などを訪問し、今後の連携強化に向けた意見交換、情報収集を行いました。

また、渡航期間中は、現地に精通した企業や団体を通じて、「メイドイン桐生」の商品についてマーケティングなどを実施しました。

特に上海・広州商談会では、群馬県上海事務所の全面協力により、中国におけるビジネスの可能性について、多くの関係機関と意見交換を行ないました。

商談会当日は強い関心を寄せるバイヤーとの活発な商談が行なわれ、「ものづくり」における技術力の高さをPRすることができました。

### <参加商談会 (平成27年10月～12月) >

開催都市＝バンコク (タイ王国)、上海・広州 (中国)

参加企業＝1社 (マーケティング調査：9社)

合計商談件数＝51件 (うち、付帯事業分10件)